非核・平和への願いを形に表そう

―ヒロシマ･ナガサキに思いを寄せて黙祷･献花を―

“一発の爆弾が世界を地獄に変えた”その非人道性からも、「核兵器は一発たりとも持ってはいけない」と被爆者をはじめ多くの市民が声を上げているのに世界では核兵器保有国が関わる地域紛争（戦争）の激化・・・

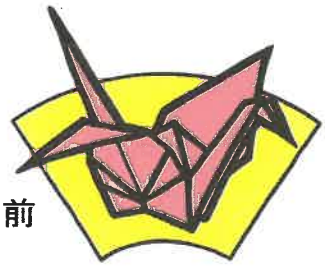
いまだにロシアの侵略で始まったウクライナでの戦争は停止せず、又、ガザではイスラエル軍によるジェノサイドで多くの子どもや女性が殺害され 7 万人以上のパレスチナ人がなくなっています。更にイスラエルと米国によるイランへの武力攻撃と・・・世界中の人々が平和を求めているが多くの国が軍拡です。核抑止力では戦争を止められないのに。

残念なことに日本国内でも「非核三原則」の見直しが語られ、官邸の高官から「核兵器を保有すべき」との発言も。拡大抑止論が展開されています。

終末時計は昨年より４秒縮まり“残り 85 秒”に。

核兵器が使用されることがあったら、どれほどの悲惨な被害が長く続くことかということに深く思いを致し、唯一の戦争被爆国として「核兵器禁止条約」への調印・批准を求めて声をあげていきましょう。　今年も、非核･平和を訴える行動をしようと思います。一緒に黙祷・献花をしましょう。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊



☆8 月 6 日（木）：8 時 15 分黙祷（8 時集合）

❀　献花

鎌ヶ谷市役所うら総合福祉保健センター脇公園前

～被爆した広島市庁舎敷石・信用金庫敷石前で～

☆8 月 9 日（日）：11 時 2 分黙祷（10 時 50 分集合）

❀　献花

鎌ヶ谷市役所玄関前

～非核平和祈念モニュメント“かたぐるま”前で～

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

非核・平和を祈念する市民の集い　℡445-9144

実行委員会：　藤代政夫　　荒木忠直

河内夏美　　斉藤明

吉濱詩子　　加藤勝久

鈴木征六　　伊藤公三

後援　鎌ヶ谷市　・　鎌ヶ谷市教育委員会

非核平和都市宣言

世界の恒久平和と安全は、人類共通の念願であり、人類が尊重しなければならない普遍的な理念である。

この崇高な目的の達成なくして、鎌ケ谷市のめざしている「自然と調和した住みよい街づくり」の実現もあり得ない。

わが国は世界唯一の核被爆国として被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再びこの地球上に核兵器による惨禍を繰り返させてはならない。

私たち鎌ケ谷市民は、生命の尊厳を深く認識し非核三原則が完全実施されることを願い、平和を愛する世界の人々とともに核兵器の廃絶と軍縮を訴え、世界の恒久平和を実現することを決意する。

ここに鎌ケ谷市を非核平和都市とすることを宣言する。

1984年7月2日　鎌ケ谷市